

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	誰とでも楽しめるユニバーサルフィールドづくり「あなたの手は誰かの翼」
事業主体 (連絡先)	ユニバーサルフィールドづくり実行委員会
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	8,338,172 円 (うち支援金: 6,670,000 円)

事業内容

- 情報発信と啓蒙活動、仕組み、担い手づくり
 - ・セミナー、ワークショップの開催 (9回)
 - ・イベント実施、支援 (ユニバーサルフェス、ドリームフェス)
- 安心と安全の受入環境づくり
 - ・「地域トラベルサポーター」養成講座
 - ・温泉入浴介助実証実験
 - ・JINRIKI 講習会
- 教育と連携したユニバーサルフィールドづくり
 - ・ユニバーサルツーリズムモデルプラン作り
 - ・学習旅行サポート (夏期・冬期)
 - ・冬のユニバーサルフィールド体験会
 - ・冬期野外活動障害児児童生徒支援員養成



【冬のユニバーサルフェス】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 概念の確立 (ユニバーサルツーリズム・ユニバーサルフィールド)
 - ・新聞、テレビ、web 等報道による「ユニバーサルツーリズム」認知度の向上
 - ・長野県観光部、信州大学等による連絡会議の実施
 - ・第5回信州おもてなし大賞受賞 (関連3団体)
- 中核人材の養成 地域連携 (人材、施設、分野)
 - ・啓蒙、環境づくり、地域連携を担う中核人材の確保
 - ・「地域トラベルサポーター」の養成
- 継続した人材育成の実施
 - ・観光庁平成30年度事業での人材育成 (信州大学) 「産学連携による観光産業の中核人材育成・強化事業」

【目標・ねらい】

- ① 概念の確立 (ユニバーサルフィールド)
- ② 中核人材の養成
- ③ 地域連携 (人材、施設、分野)
- ④ 継続した人材育成の実施

※自己評価 【 A 】

【理由】
 野外環境だけでなく温泉、美術館等屋内施設にも広がった。地域支援学校や大学等との連携により長野県全体に波及する活動となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ユニバサルツーリズムに関する担い手づくり 地域、業種連携事業
 - ・地域トラベルサポーター養成、美術館博物館等屋内施設との連携
 - ・ワークショップ、イベントによる啓蒙活動、連携体構築
- インクルーシブ教育、教育連携事業
 - ・特別支援学校、学級の野外活動支援。 高齢者障害者疑似体験会の開催

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある